

第4回 笠松町議会臨時会議決結果

(8月12日開会 同日閉会)

第56号議案 松枝処理分区(40工区)管渠埋設工事請負契約の締結について

契約金額 87,150,000円
契約の相手方 株式会社 加藤組

第57号議案 平成20年度笠松町一般会計補正予算について

補正額 661,000円
補正後歳入歳出予算額 5,822,234,000円

笠松中学校の東門扉および給食口門扉の施工方法などの変更による増額補正。

〔提出議案はすべて可決〕

老人福祉センターに健康機器が新設 伴さんの寄附金を活用

今年5月、門間の伴巖さんから老人福祉の充実を図るために1,000万円の寄附をいただきました。

町では、この寄付金の一部で高齢者の皆さんの憩いの場となっている老人福祉センター機能回復訓練室の備品整備を進め、7月22日に完成しました。

整備された機能回復訓練室では、訪れたお年寄りたちが早速マッサージ機などを利用して快適な時間を過ごされました。

配備された備品は、マッサージチェア4台、マッサージベット2台、書架1台、書籍68冊、椅子6脚、52型液晶カラーテレビ1台、全自動血圧計1台です。

なお、機能回復訓練室を利用される方は、60歳以上の皆さんです。



岡田議長、伴巖さん、伴清子さん、広江町長(左から)がテープカット

木曾川「川の駅」連携について思うこと

木曾川学セミナーで広江町長講演



広江町長が川の駅について講演

7月26日、各務原市立中央図書館視聴覚ホールで、木曾川学研究協議会が主催する「木曾川学」セミナーが開催され、広江町長は『木曾川「川の駅」連携について思うこと』と題して講演されました。

講演は、木曾川と共に歩んできた笠松の歴史を紹介しながら、川を活用したまちづくりや笠松競馬場から中央へ羽ばたき、国民に感動を与えてくれたオグリキャップのこと、町民の意識を変えた合併問題、それに伴う行財政改革のことなどを取り上げました。

さらに木曾川を活用したリバーサイドタウンかさまつ計画、笠松らしいブランド、道徳のまちづくりなどこれから笠松町が取り組むまちづくりについて、1時間30分ほどプロジェクターで画像を映し、ユーモアも入れながらわかり易く説明されました。

150人ほどの受講者は、熱心にメモをとって聴かれて、笠松町への認識を新たにされたようでした。